

感染症診療における早期対応に関するWeb研修会の開催

2023年8月8日(火)



海外渡航前に必須の感染症予防



筑波大学 医学医療系 感染症内科学

筑波大学附属病院 感染症科

鈴木広道

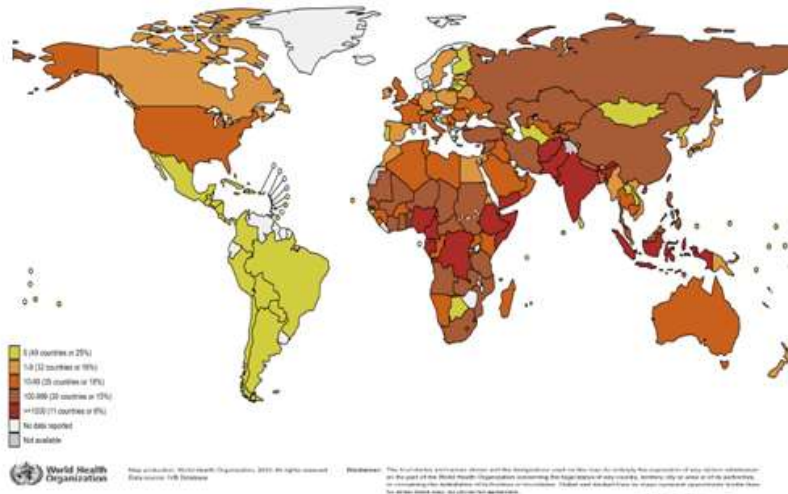
かかりつけ患者より海外渡航の注意点を聞かれたら？

- ① 常用薬の確認
- ② 麻疹ワクチンの2回接種歴
- ③ 虫よけ(蚊)：特に東南アジア・南アジア・アフリカ
- ④ 厚生労働省検疫所で海外渡航先の確認
<https://www.forth.go.jp/news/20190917.html>



Number of Reported Measles Cases (Last 6 months)

Top 10*	
Country	Cases
India**	68,473
Yemen	7,554
Indonesia	5,754
Ethiopia	4,505
Pakistan	4,038
Cameroon	3,382
Somalia	3,104
DR Congo***	2,703
Afghanistan	2,105
Nigeria	1,769



出典：WHO(世界保健機関) 麻疹報告数
(令和5年5月現在；一部改変)

海外渡航の際の疾病予防、チェックリスト

(海外にいかれる方：先進国、南アジア、アフリカを除く発展途上国の都心部短期滞在)
海外渡航者全体の9割

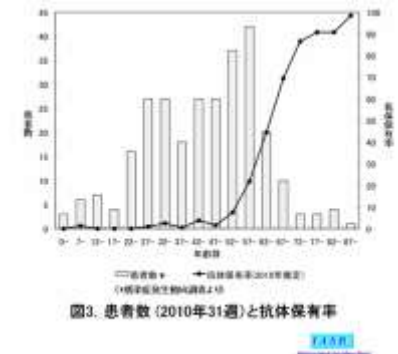


図3. 患者数(2010年31週)と抗体保有率

感染症内科(海外渡航専門機関)へ
(全体の1割)

発展途上国長期滞在(赴任)
 発展途上国：農薬、南アジア(インド・パキスタンなど)、アフリカ旅行
 海外留学(入学)
 特殊ワクチン・予防薬・証明書(出産：成人用3種混合ワクチン、メッカ巡礼)

国内～海外にでる時の注意

• 安全

• 体調不良

: 持病



日本人出国者数推移及び時期



: **感染症**・その他(虫歯・不眠等)

新興感染症や輸入感染症の伝播の主要な原因



海外では感染症・医療問題で困る。

- **衛生環境**が日本より格段によくない。
- **密集環境**にタイトなスケジュールでいくため感染しやすい。
- **野外などのアクティビティ**が多く、移動が多い。
- **開放的**になり、普段より活動的になっている。
- **土地勘のない場所**であり、事故に合いやすい。
- **免疫をもっていない**地域の感染症に罹患しやすい。
- 感染症(虫さされを含む)にかかった時に、**医療アクセス**がしにくい。



よくある事例

- 旅行者下痢症
- 呼吸器感染症
(インフルエンザ・COVID-19)
- 性病(淋菌・クラミジア・梅毒)
- 皮膚疾病

後悔する事例

- 難治性感染症罹患
- 麻疹
- 流行性疾病(デング・腸チフス・マラリア)
- 動物咬傷(破傷風・狂犬病)
- 性病(HIV/エムポックス等)

海外で多い感染症（予防可能な疾病）

	感染症	地域
経口感染	旅行者下痢症、A型肝炎、E型肝炎、腸チフス、パラチフス	途上国全域（腸チフスは特に南アジア）
飛沫感染・ 空気感染	急性上気道炎、COVID-19、インフルエンザ、麻疹、風疹	海外全域
蚊媒介	マラリア	熱帯・亜熱帯地域 （特にサハラ以南アフリカ）
	デング熱・ジカ熱・チクングニア	中南米、東南アジア、南アジア
	黄熱	熱帯アフリカ、南米
	日本脳炎	東アジア、東南アジア、南アジア
性行為	梅毒、淋菌、クラミジア、HIV、B型肝炎、ジカ熱	海外全域
動物咬傷	狂犬病	途上国全域

現地での感染症予防



- 生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- 食事は、十分に火の通った信頼できるものを食べましょう。
- 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、必要時、虫よけ剤を使う。
- 動物には、むやみに近寄ったり、触らないようにしましょう。
- 薬物やゆきずりの性交渉で感染し、一生後悔することのない行動をとりましょう。
- 咳や発熱、発疹など、なんらかの症状がある方との濃厚な接触は避ける。

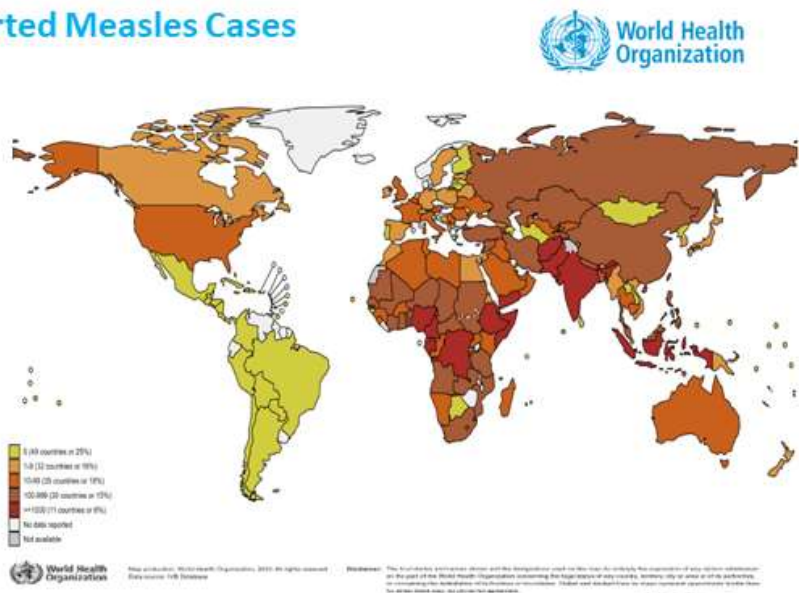
かかりつけ患者が海外にいつてきますといつてきたら？

- ① 常用薬の確認
- ② 麻疹ワクチンの2回接種歴
- ③ 虫よけ(蚊) : 特に東南アジア・南アジア・アフリカ
- ④ 厚生労働省検疫所で海外渡航先の確認
<https://www.forth.go.jp/news/20190917.html>



Number of Reported Measles Cases (Last 6 months)

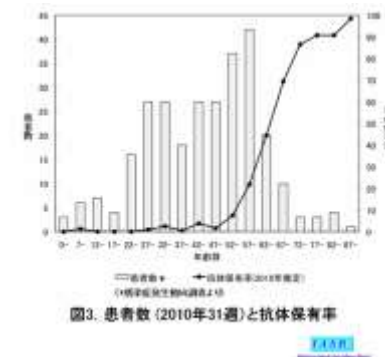
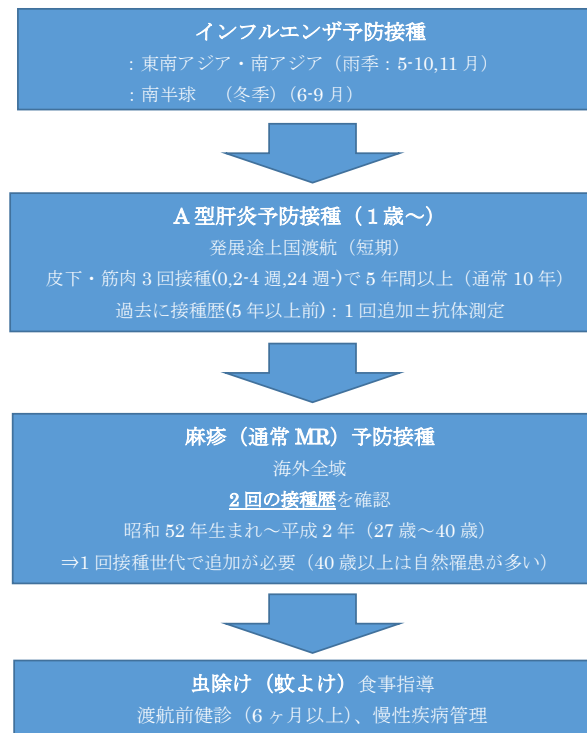
Top 10*	
Country	Cases
India**	68,473
Yemen	7,554
Indonesia	5,754
Ethiopia	4,505
Pakistan	4,038
Cameroon	3,382
Somalia	3,104
DR Congo***	2,703
Afghanistan	2,105
Nigeria	1,769



出典：WHO(世界保健機関) 麻疹報告数 (令和5年5月現在；一部改変)

海外渡航の際の疾病予防、チェックリスト

(海外にいかれる方：先進国、南アジア、アフリカを除く発展途上国の都心部短期滞在)
 海外渡航者全体の9割



感染症内科 (海外渡航専門機関) へ
 (全体の1割)

発展途上国長期滞在 (赴任)
 発展途上国: 農薬部、南アジア (インド・パキスタンなど)、アフリカ旅行
 海外留学 (入学)
 特殊ワクチン・予防薬・証明書 (出産: 成人用3種混合ワクチン、メッカ巡礼)

患者が留学？長期出張、家族で赴任、発展途上国へ長期滞在するといってきたら？

筑波メディカルセンター病院
感染症内科外来(渡航外来)
: 海外渡航前(約3000名/年)



渡航専従事務が予約・事前問診・書類作成補助

渡航前:

- ① 予防接種(各種特殊ワクチン)・渡航前調査
- ② 感染症予防策(予防内服薬)
- ③ 各種書類(公式英文書類含む)

筑波メディカルセンター病院 感染症内科 渡航・就業前予防接種および抗体検査のご案内

当院では、出張や海外赴任・留学・旅行などで海外に行かれる方、医療関連機関に入学・実習・就職される方。免疫機能低下(脾臓摘出後)がある方、子宮頸がんワクチン接種、帯状疱疹ワクチンをご希望の方などに、予防接種および抗体検査を実施しています。

予約登録フォーム



予約方法はインターネットからの申込のみです。
病院窓口や電話での予約はできません。

公式HP >> お知らせ >> 渡航・就業前予防接種
(<https://www.tnch.or.jp/hosp/examination/gairai/yobosesshu.html>)

・予約のタイミング

渡航目的の場合、接種内容によりますが、初回予約日は出国日1か月前が目安となります。予約枠の関係もございますので、できるだけお早めに予約をいただくと幸いです。
*中学生以下のお子さんは他のご家族(ご両親等)と一緒に申し込みの場合に限ってご予約可能です。

・来院時間・母子手帳について

多くの方は3回の受診で必要な予防接種及び抗体値測定を行いません。初回は30分程度の相談時間が必要となりますので、時間にゆとりをもってご来院下さい。抗体検査・海外渡航のための予防接種希望の方に、母子手帳などの予防接種歴が分かる資料をご準備いただいております。

・英文診断書の発行

和文診断書に加えて、英文診断書も発行します。診断書の発行は専属事務が担当します。

感染症内科外来

	午前	午後
月曜日	9:00~12:00	14:00-15:00
火曜日	×	×
水曜日	9:00~12:00	×
木曜日	×	×
金曜日	9:00~12:00	×

～診療医師～

- ・寺田教彦：
感染症専門医・総合内科専門医・日本感染症学会認定医
簿記・国際渡航医学会 Certificate in Travel Health
- ・明石祐作：
総合内科専門医、救急科専門医、国際渡航医学会 Certificate in Travel Health
- ・喜安嘉彦：
感染症専門医・総合内科専門医
- ・栗原陽子：
感染症専門医・総合内科専門医
- ・鈴木広道：
感染症専門医・総合内科専門医